

特別展

「韓日食博」 わかちあい、おもてなしのかたち」

韓国交正常化50周年を記念して、韓国国立民俗博物館と共同で開催します。

「時を越える南インドの踊り」

寺院舞踊のスタイルを伝える舞踊家ナルタキ・ナタラジの演技を通して、インド舞踊文化の多様性を紹介します。

「息づく飯面」

パリ島から、第一線で活躍中の舞踊家2名を迎え、ガムランを伴奏に飯面舞踊劇トベンを上演します。

ゆつたり東南アジア

春のみんなくフォーラム2016 新しくなった東南アジア展示やイベントを通じて、ゆつたりとした東南アジアの日常を紹介いたします。

「息づく飯面」

パリ島から、第一線で活躍中の舞踊家2名を迎え、ガムランを伴奏に飯面舞踊劇トベンを上演します。

日時 12月6日(日) 14時〜16時

会場 本館講堂(定員450名)

※要事前申込、要展示観覧券

申込締切 11月18日(水) 必着

「飯面を生かす踊り」

パリの舞踊家の指導で、それぞれの役柄に特有なからだの動きを体験し、舞踊家がいかに飯面に命を吹き込んでいくのかを学びます。

日時 12月5日(土) 11時〜13時

会場 本館講堂(定員40名)

※要事前申込、参加無料

申込締切 11月18日(水) 必着

「カムイノミ(神への祈り)」

本館に所蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願ひ、北海道アイヌ協会の協力をえて、カムイノミをおこないます。

日時 11月12日(木) 10時30分〜11時50分

会場 本館玄関前広場

※雨天の場合は、特別展示館休憩所(BF)にて開催

「アイヌ工芸 in みんなく」

アイヌ民族が培ってきたものの作りの技術や知恵、伝統から創造された数々の作品にふれてみませんか。アイヌ協会優秀工芸師による「刺しゅう」や「木彫」の実演が行われます。

日時 11月12日(木) 15日(日) 10時〜17時

会場 本館エントランスホール

※申込不要、各日定員10名 材料費500円

公開シンポジウム

「台湾文化光点計画」

伝統と創意——台湾客家の工芸と音楽」

日時 11月28日(土) 13時〜16時40分

会場 本館エントランスホール

※申込不要、各日定員10名 材料費500円

「もの作りワークショップ」

日時 11月12日(木) 15日(日) 11時〜15時

会場 本館エントランスホール

※申込不要、各日定員10名 材料費500円

公開シンポジウム

「台湾文化光点計画」

伝統と創意——台湾客家の工芸と音楽」

日時 11月28日(土) 13時〜16時40分

会場 本館エントランスホール

※申込不要、各日定員10名 材料費500円

「無料観覧日のお知らせ」

11月3日(火)・祝、14日(土)、15日(日)は、特別展示本館展示を無料で観覧いただけます。

「展示場閉鎖のお知らせ」

設備工事のため、2016年1月から3月に各展示場を順次閉鎖する予定です。

「中央・北アジア、アイヌの文化」

展示リニューアルのため、中央・北アジア、アイヌの文化展示場を11月18日(水)から3月16日(水)まで閉鎖します。

会場 本館講堂

※申込不要、参加無料

「台湾の客家文化産業」

台湾南部の客家による紙傘、藍染、八音の実演と解説をおこないます。

日時 11月29日(日) 13時〜16時40分

会場 本館第4セミナー室

※要事前申込、参加無料

「北大阪ミュージアムメッセ」

北大阪7市3町の美術館、博物館が2日間みんなく大集結し、楽器演奏によるコンサート、地域の民俗芸能上演などを実施します。

日時 11月14日(土)、15日(日)

会場 本館エントランスホール及び特別展示館休憩所(BF)

※申込不要、参加無料

「みんなくミュージアムパートナーズ」

「点字体験ワークショップ」

日時 11月14日(土) 12時〜15時30分

会場 本館エントランスホール

「やってみよう！ミラー刺繍」

日時 11月14日(土)、15日(日) 12時〜15時30分

会場 特別展示館休憩所(BF)

「公開放演」

「育児の人類学、介護の民俗学」

「フィールドワークによる再発見」

育児と介護の現場におけるフィールドワークから、少子高齢化をむかえた日本社会のゆくえんを探ります。

日時 11月13日(金) 18時30分〜20時40分

会場 日経ホール(東京、定員600名)

主催 国立民族学博物館、日本経済新聞社

※要事前申込、参加無料、手話通訳あり

お問い合わせ先

研究協力係

06・6878・8209

連続講座

「みんなくナレッジキャピタル」

好評につき大阪・梅田のナレッジキャピタルで第3弾を開催！

時間 19時〜20時30分

会場 グランフロント大阪北館1階

ナレッジキャピタル「カフェラボ」

※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名

主催 国立民族学博物館

一般社団法人ナレッジキャピタル

11月4日(水)

講師 佐々木史郎(本館教授)

「毛皮——防寒とファッションと」

11月18日(水)

講師 木村裕樹(本館外来研究員)

木でつくられる挽物

「木材の工学的利用」の探究

お申込み・お問い合わせ先

一般社団法人ナレッジキャピタル

06・63372・6530

「カレッジシアター」

「地球探究紀行」

時間 13時〜14時30分

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」

※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円

主催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9

特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

11月11日(水)

インド染織文化の今——村落から世界へ

講師 上羽陽子(本館准教授)

11月25日(水)

みんなくコレクションに見る

「世界のイスラーム」

講師 山中由里子(本館准教授)

お申込み・お問い合わせ先

ウェーブ産経カレッジシアター係

06・66333・9087

みんなくセミナー

時間 13時30分〜15時(13時開場)

会場 本館講堂

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)

第450回 11月21日(土)

シルクロードの古代都市遺跡と歴史空間

講師 寺村裕史(本館助教)

中央アジアは「シルクロード」を通じて「人と物」の活発な交流によって人類史・文明史における重要な舞台となってきました。

ウズベキスタンのサマルカンド近郊に営まれたシルクロード古代都市の考古学的な発掘調査を題材に、デジタル技術を駆使した情報考古学という視点から、その調査成果についてお話しします。

ダブシア城の城壁とサラフジャン川

みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

時間 14時30分〜15時30分

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多岐。

11月1日(日) 本館ナヒひろば

オセアニアの食文化——パンの美とタロイモの料理

話者 須藤健一(本館館長)

11月8日(日) 特別展示館※要特別展観覧券

石毛さんに聞く——日韓の食文化研究

話者 石毛直道(本館名誉教授) 朝倉敏夫(本館教授)

11月29日(日) 本館ナヒひろば

聖者崇敬からみたシリア、レバノン、ヨルダン、パレスチナ

話者 菅瀬晶子(本館助教)



「武器をアートに」

「毛ザンピックにおける平和構築」

会期 11月23日(月)・祝まで

休館日 月曜日(11月23日(月)は開館)

会場 東京藝術大学美術館 本館展示室3

主催 東京藝術大学、国立民族学博物館

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)

※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円

第448回 11月7日(土) 14時〜16時

移住がつくる客家の食

講師 河合洋尚(本館助教)

広大な面積を誇る中国は、地理的条件が多様であれば、人びとの生活もさまざまです。

「中国料理」といっても一言に括ることはできません。

漢族の一集団である客家は中国北部から南下し、中国南部や台湾に移住・定着した歴史をもちます。

また、海外に居住する華僑・華人のなかにも客家は少なくありません。

食文化から彼らの移動性をさぐることに、近年移住先で再構築される客家料理に着目し、食のグローバル化とローカル化について考えます。

●講義(14時〜15時10分) 終了後、講師と気軽に交流できる懇談会を実施します。

第449回 12月5日(土) 14時〜16時

カナダの魚食文化——日本人移民との関わりから

講師 河原典史(立命館大学教授)

カナダの食文化について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

ビーフやメープルシロップ、そしてやはりサーモンなどの魚食の文化が挙げられるのかもしれない。

カナダには多様な魚食文化がありますが、それらは19世紀末にカナダへと渡った日本人移民とも深い関係があります。

イクラやカスノコ、ニシンのほか、今ではすっかりカナダ社会に溶け込んでいる巻き寿司「BCロール」から、カナダの魚食文化と日本人移民史について考えます。

●講義(14時〜15時10分) 終了後、講師と気軽に交流できる懇談会を実施します。

第71回体験セミナー

「九州のなかの朝鮮文化を歩く」

第86回民族学研修の旅

「チヨコレートのふるさとを訪ねて」

体験セミナー、民族学研修の旅ともに、定員に達しました。

今後の予定については、友の会事務局までお問い合わせください。